

# 流山 九条ニュース

「九条の会・流山」事務局

阿部 7140-7605 石林 7154-7511

齋藤 7143-0374 三原 7152-6559

2009.12.1 NO.45



「九条の会・流山」HP：<http://www.nagareyama9.org/> メール：[info@nagareyama9.org](mailto:info@nagareyama9.org)

## 九条の会・流山の学習と懇談の

### 会

九条の会・流山では世話人会をオープンにし、会員の方にも加わっていただきながら気軽な学習会を続けて行こうとしています。何百人の講演会もいいけれど、もっと気軽にあまり準備にエネルギーを費やしたりせずに行える活動も行って行こうという試みです。

今回はNHKビデオを見て話し合おうという会です。会員の方どなたでも、また、会員以外の方もどうぞお誘い下さい。

### 学習・懇談会

12月9日(水) 13:30

会場 野々下福祉会館(豊四季駅から徒歩10分)  
長崎小学校となり

内容 今夏のNHK特集  
「日本海軍 400時間の証言」を見て

1941年(昭和16年)12月8日真珠湾攻撃によって日米開戦し太平洋戦争が始まりました。なぜ海軍はアメリカとの戦いを始めたのか?海軍軍令部や海軍省のなかでどのような形で論議され決定されていたのか?当時の将校たちが敗戦後10年余経って、その反省会を開いていたという録音記録です。3夜連続の放送でしたが、今回はその第一回「開戦 海軍あって国家なし」と題して陸軍との対抗上、海軍の都合で軍令部が皇室をバックにして日米開戦に向かっていったという証言

## 沖縄 普天間基地 自民県連も県外移設要求へ

11月28日沖縄タイムス より  
自民県連は27日の議員総会で米軍普天間飛

行場の移設先について、鳩山政権が年内に政府方針を決めなければ、名護市辺野古沿岸部への移設を容認する姿勢を転換、県外移設を要求することを決めた。同県連の方針転換は「県外がベスト」としつつ、辺野古移設を容認する仲井真弘多知事の政治姿勢や来年1月の名護市長選に大きな影響を与えそうだ。一方、鳩山由紀夫首相は同日夕、普天間飛行場の移設問題で「新しい結論を見いだすよう努力したい」と述べ、辺野古移設案以外の結論もあり得ることを示唆した。首相官邸で記者団に答えた。

自民党県連の翁長政俊幹事長は議員総会後の記者会見で、辺野古移設案を容認してきたことに関し「米軍基地の過重な負担に苦しむ県民の負担軽減につながると判断した苦渋の決断だった」と説明。政府内で検討されている嘉手納基地への統合案については「県民をさらに混乱させる」などと批判、容認しない姿勢を強調した。

翁長幹事長は鳩山政権が民主、社民、国民新の3党合意のもと米軍再編計画を進めるべきだとの考えを示し、辺野古移設より「ベストの移設先が示されて当然だ」とした。政府の方針決定時期について「年内に出なければ先送りにとらえる」と述べた。さらに「鳩山政権は、現行案を受け入れた知事や県連、名護市がいかにか苦渋の決断をしたかを全く理解していない。名護市民に選挙で責任を押しつける手法は無責任で許されない」とした。

県外移設に方針を転換した際、仲井真知事や島袋吉和名護市長との政策の整合性について「知事、島袋市長ともベストは県外。政党と首長で若干の政策の違いがあっても支持する立場に変わりはない」と述べた。

鳩山首相は自民党県連の方針転換について「新しい自民党さんの考えの下で判断を変えるということではない」と述べ、影響は限定的との見方を示した。

## 「いのちの山河」すぐ見るなら東

### 京で

#### 映画「いのちの山河」上映予定

東京 新宿武蔵野館 ただいま上映中  
(11月14日～来年1月8日まで)

10:30 13:00 ですが

12/5～12/11は 15:30 18:00 を加え4回  
市川市民会館

12月19日(土) 10:30 14:30 18:30

松戸市民会館

1月16日(土) 10:30 14:00 18:30

すでにご案内している製作協力券で入場できます。

(欲しい方は世話人まで 1000円)

その他、柏や葛飾区、足立区などで上映計画中。

### 自衛隊広報センターを見学

11月14日「九条の会・流山」で自衛隊広報センターを見学しました。参加者は5人でした。

#### 参加された坂光弘さんの見学記

『広報センター』は中へ入るのもカメラでの撮影もほとんど自由でした。順路に従って入った2階の部屋は二つの「展示ゾーン」。「自衛隊」という憲法には明らかに存在を許されていない集団の任務・組織から「あゆみ」や遺産などとして年表やら制服やら、いろいろなイベントに参加したトロフィーなどが誇らしげに展示されていました。

一階に降りてくると、ここも展示ゾーン。まずイラクに派遣された隊員たちの当時の駐屯地の状況が再現されていたり、90式「戦車」(自衛隊発足当時は武器ではない「特車」だといっていた)や通称「コブラ」と呼ばれる「対戦車ヘリコプター」がど真ん中に置かれている。その他パラシュートなどいろいろな装備品が置かれていて実際に手で持ち上げて見られるようになっている。子どもにも着せられるように作り直した「戦闘服」があって実際に着てみようと呼びかけ、さらに3Dシアターがあって戦闘シーンを立体的に飛び出させ

て見せ、戦車の100ミリ砲を観客のほうへ向けながら猛スピードで画面から飛び出させたりと自衛隊の「装備」のすごさを見せつけようとしていました。

さらに外のイベント広場には、陸上はおろか水陸両用の戦闘車両や105ミリ自走砲などが20～30両ほどぎっしりと並べられていて、それらの展示物はすべて撮影自由でした。ところがそのイベント広場の車両の後に張られた高さ5m位の金網の向こうに広がる広場のほうには、そこにも数多くの先頭車両が置かれていたけれど、その金網には「こちらのほうへはカメラを向けなくて下さい」と張り紙がしてありました。ところで「コブラ」については現在では主に柏市に所属することになる下総海上自衛隊の基地祭りでは多くの軍用機が展示されます。その中に木更津陸上自衛隊(米海軍木更津基地の一部を借りています)の「コブラ」もあるのですが、展示飛行もするのです。前進後退、左右への移動、上昇下降、左旋回、右旋回、ホバリングなどをして見せます。ところがそのうちに機首を観客のほうに向けて下げた状態でホバリングをしながら機関銃(砲?)を左右に振って見せたりするのです。「こうやって相手を攻撃するんだよ」といわんばかりの展示でした。ベトナムの人たちはあんな調子で狙われ、本当に銃弾を発射しているのだから堪ったものではなかったろう。私も戦時中、川崎の工場にいるとき、急降下してくる艦載機の爆音とバリバリという機銃掃射の音を聞いて慌てて物陰にかくれたことがまざまざと思い出されてしまいました。今、政府は替わったけれど、この政府も日本を「戦争の出来る国」にしそうで油断が出来ないとつくづく思うのです。

### 定例駅頭宣伝

12月は9日(水) 15:30～16:30

駅頭宣伝 流山おおたかの森駅

前回少なかった参加者が今回は13名の参加、いつも地味連のチラシ配りですがTさんの和服姿でホット明るくなりました。署名は14名、チラシは400枚近く配ることが出来ました。12月はもちろん9日ですが、12月8日はご存知の通り特別の日。日米開戦の真珠湾攻撃の日です。

1941年のあの日から68年が過ぎました。

.....  
[カンパはこちらの郵便振替口座へ](#)

00130 - 5 - 464735 口座名 九条の会流山